

自給飼料の省力的な多収栽培技術 ソルガム新品種「峰風」とトウモロコシの混播栽培

スーダン型ソルガム新品種「峰風」とトウモロコシの混播栽培（新品種混播）は、トウモロコシとイタリアンライグラスの二毛作よりやや多収な栽培体系で、年間の作業時間を27%削減できる省力的な栽培体系であった。

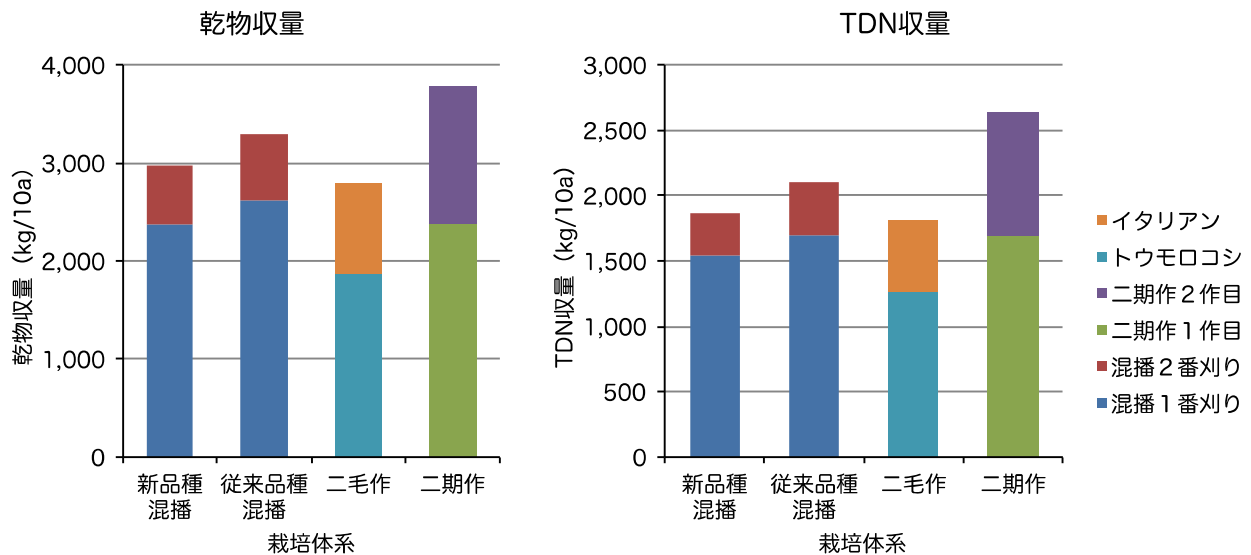


図1 栽培体系による収量性の比較

「峰風」を使った新品種混播栽培は、年間の乾物収量及び TDN 収量は、2,974kg/10a 及び 1,869kg/10a で、二毛作より 6%及び 3%多く、従来品種混播及び二期作より 11%及び 27%少なかった。また、年間の TDN 収量は二毛作よりやや多収であった。

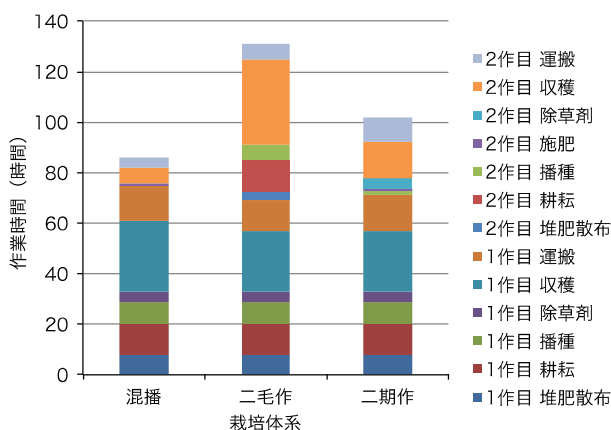


図2 栽培体系による年間総作業時間の比較

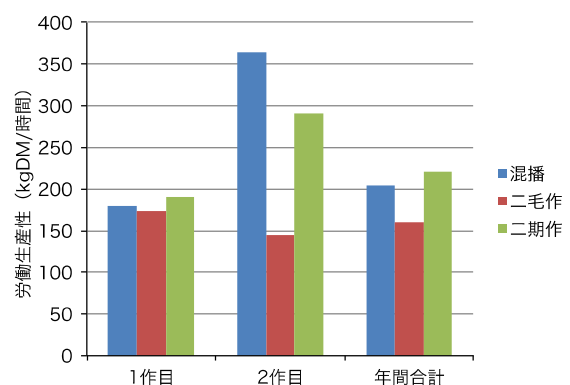


図3 栽培体系による労働生産性の比較

「峰風」とトウモロコシの混播栽培の年間総作業時間 86 時間で、二毛作及び二期作と比較して 34%及び 16%短縮された。年間合計の労働生産性は、混播は 203kgDM/時間で、二毛作より 27%多く、二期作より 8%少なかった。